



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,972	△8.8	305	△68.3	610	△51.2	529	△46.0
2020年3月期第1四半期	7,649	5.8	964	81.7	1,251	△19.5	980	△18.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 957百万円 (21.8%) 2020年3月期第1四半期 786百万円 (50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.39	—
2020年3月期第1四半期	17.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	67,238	59,991	89.2
2020年3月期	68,501	59,767	87.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 59,991百万円 2020年3月期 59,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当につきましては現時点では未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、主要市場である国内及び米国において新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、第1四半期時点での状況をもって連結業績予想を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績への影響を慎重に見極め、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	56,814,093株	2020年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	397,767株	2020年3月期	397,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	56,416,326株	2020年3月期1Q	56,403,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であることから、記載しておりません。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2020年7月31日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)の売上高は、国内医薬品の薬価引き下げに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外来受診の減少や米国における緊急を要さない医療処置の延期などの影響を受け、医薬品事業が減収となったことから、前年同期と比べ8.8%減の69億7千2百万円となりました。

営業利益は、減収に加え、米国で実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603追加臨床試験の被験者組み入れ促進策にかかる費用等により研究開発費が増加し、68.3%減の3億5百万円となりました。経常利益は、受取ロイヤリティーの計上や為替差損の減少など利益の増加要因があったことから、51.2%減の6億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は46.0%減の5億2千9百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品(36億9千4百万円、前年同期比0.1%増)

関節機能改善剤アルツは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い外来受診が減少した影響などにより、市場全体が縮小し、医療機関納入本数は前年同期を下回りました。なお、前期に実施した新規納入施設獲得策の効果があり、市場シェアは拡大しました。当社売上高は、前年同期に比べて出荷が増加しましたが、薬価引き下げの影響を受けて減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い白内障手術件数が減少し、市場全体は縮小に転じましたが、競合品の出荷調整の影響を受けて、医療機関納入本数が伸び、当社売上高も薬価引き下げの影響をカバーして増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、競合品の攻勢に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い内視鏡手術件数が減少した影響を受け、当社売上高は減少しました。

腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアにつきましては、引き続きより多くの患者の方々へ治療機会を提供するために、適正使用及び安全性確保のための情報提供や市販後の安全性情報集積に努めています。当第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による外来受診減少の影響を受けたものの、新規納入施設の着実な伸びにより、医療機関納入本数及び当社売上高は増加しました。

- ・海外医薬品(11億3千8百万円、同41.8%減)

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、新型コロナウイルス感染症の拡大による都市部でのロックダウンや緊急を要さない医療処置の延期などの影響により、現地販売本数及び当社売上高は減少しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、少数回投与製品が選好される傾向の継続に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現地販売本数及び当社売上高は減少しました。

なお、米国市場においては、ロックダウンが徐々に解除され、経済活動が再開され始めた5月中旬以降、現地販売は回復傾向にあります。

中国向けアルツは、経済活動の再開時期が比較的早く終わったものの、一部の地域において4月以降も外来診療の抑制が継続した影響等により、現地販売本数及び当社売上高は減少しました。

- ・医薬品原体(2億9千5百万円、同1.7%増)

ヒアルロン酸の競合激化がありましたが、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は51億2千8百万円(同13.6%減)となりました。

<LAL事業>

海外子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インクの販売活動強化により、エンドトキシン測定用試薬及びグルカン測定体外診断用医薬品の販売が伸び、売上高は18億4千4百万円(同7.7%増)となりました(注)。

なお、LAL事業で取り扱うエンドトキシン測定用試薬及び受託試験サービスは、注射用医薬品や一部の医療機器などの品質管理に使用されるため、新型コロナウイルス感染症による影響は現時点において限定的と想定していますが、収束時期が不透明であり、事態が長期化した場合は、影響が生じる可能性があります。

(注)アソシエーツ オブ ケープ コッド インクは決算期が12月期であることから、当第1四半期連結累計期間に該当する2020年1月から3月においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う売上高への影響は軽微でした。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）につきましては、主要市場である国内及び米国において新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、第1四半期時点での状況をもって連結業績予想を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績への影響を慎重に見極め、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(3) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創生を目指しています。

今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市を実現するために、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な活動を推進するとともに、独自の創薬技術の強化やオープンイノベーションの活用によりプロジェクト数の拡充を図っていきます。

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、16億1千5百万円（対売上高比率23.2%）となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・ SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2018年2月より米国における第Ⅲ相臨床試験の追加試験を開始し、2022年11月に経過観察を終了する計画で進めておりましたが、米国での新型コロナウイルス感染症拡大により、一部医療機関での治験中断や被験者の来院見合わせが増加したこともあり、2020年6月末時点で約6ヶ月の遅延を見込んでいます。治験施設が多数ある州での感染が拡大傾向にあることから、今後、ロックダウンが実施された場合は、被験者の組み入れが更に遅延することが想定されます。現在、医療現場の状況及び患者さまや医療関係者の方々の感染防止を最優先に考慮しつつ、被験者の組み入れに効果的な広告活動や現地の治験業務委託先と連携した新規施設の早期立ち上げなど、各施策を着実に実行しています。

・ SI-613（変形性関節症治療剤、開発地域：日本、米国）

国内で実施した3つの第Ⅲ相臨床試験結果に基づき、2020年1月に変形性関節症（膝関節、股関節、足関節）の効能又は効果に係る国内での製造販売承認申請を行いました。当局からの照会事項に適宜、適切に対応しており、現時点で審査はスケジュールどおりに進んでいると受け止めています。

・ SI-722（間質性膀胱炎治療剤、開発地域：米国）

米国における第Ⅰ相臨床試験が完了し、2019年11月に第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を開始しておりますが、米国での新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年6月末時点において、試験計画に対し約4ヶ月の遅延を見込んでいます。今後、米国での感染が更に拡大し、治験施設のある州でロックダウンが実施された場合は、被験者の組み入れへの影響が想定されます。現在、現地の治験業務委託先と連携し、医療現場の状況及び患者さまや医療関係者の方々の感染防止を最優先に考慮したうえで、試験の実施に努めています。

・ SI-449（癒着防止材、開発地域：日本）

2018年5月に開始したパイロット試験において、有用な効果が確認されたことを受け、2020年5月に、有効性（癒着の防止効果）、安全性及び操作性を確認するピボタル試験を開始しました。なお、被験者組み入れ開始については、患者さまや医療関係者の方々の新型コロナウイルス感染防止を最優先に考慮しつつ、慎重に準備を進めています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,100	15,211
受取手形及び売掛金	6,166	7,491
有価証券	7,783	7,294
商品及び製品	4,033	3,137
仕掛品	2,270	2,181
原材料及び貯蔵品	1,668	1,896
その他	5,489	2,266
貸倒引当金	△64	△61
流動資産合計	40,447	39,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,615	18,607
減価償却累計額	△13,504	△13,630
建物及び構築物（純額）	5,110	4,977
機械装置及び運搬具	20,230	20,230
減価償却累計額	△19,600	△19,584
機械装置及び運搬具（純額）	630	646
土地	966	966
リース資産	69	59
減価償却累計額	△62	△51
リース資産（純額）	6	7
建設仮勘定	871	986
その他	5,133	5,116
減価償却累計額	△5,056	△5,042
その他（純額）	76	74
有形固定資産合計	7,662	7,659
無形固定資産		
のれん	1,110	1,110
その他	467	471
無形固定資産合計	1,577	1,581
投資その他の資産		
投資有価証券	17,472	17,234
その他	1,348	1,353
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	18,813	18,579
固定資産合計	28,053	27,820
資産合計	68,501	67,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613	746
短期借入金	376	376
リース債務	39	37
未払金	3,913	2,605
未払法人税等	426	—
賞与引当金	637	318
環境対策引当金	95	95
その他	604	934
流動負債合計	6,707	5,115
固定負債		
リース債務	69	61
繰延税金負債	1,447	1,611
退職給付に係る負債	46	36
資産除去債務	40	40
その他	423	381
固定負債合計	2,027	2,131
負債合計	8,734	7,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	48,254	48,051
自己株式	△628	△628
株主資本合計	56,768	56,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,995	3,467
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	114	23
退職給付に係る調整累計額	△120	△69
その他の包括利益累計額合計	2,998	3,426
純資産合計	59,767	59,991
負債純資産合計	68,501	67,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,649	6,972
売上原価	3,596	3,485
売上総利益	4,052	3,486
販売費及び一般管理費		
販売手数料	377	200
人件費	529	524
賞与引当金繰入額	90	94
退職給付費用	26	30
研究開発費	1,288	1,615
その他	776	714
販売費及び一般管理費合計	3,088	3,180
営業利益	964	305
営業外収益		
受取利息	36	21
受取配当金	171	216
投資有価証券売却益	191	—
受取ロイヤリティー	—	90
その他	22	14
営業外収益合計	421	342
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	122	31
その他	6	1
営業外費用合計	134	37
経常利益	1,251	610
税金等調整前四半期純利益	1,251	610
法人税、住民税及び事業税	253	70
法人税等調整額	17	10
法人税等合計	270	80
四半期純利益	980	529
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	529

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	980	529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	471
繰延ヘッジ損益	16	△4
為替換算調整勘定	△1	△91
退職給付に係る調整額	3	51
その他の包括利益合計	△194	427
四半期包括利益	786	957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	957
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,936	1,712	7,649	—	7,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,936	1,712	7,649	—	7,649
セグメント利益	610	353	964	—	964

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,128	1,844	6,972	—	6,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,128	1,844	6,972	—	6,972
セグメント利益又は損失(△)	△2	308	305	—	305

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。